

地域課題【教育と福祉の連携について】

ポイント

教育と福祉の連携がうまくいくために、連携がうまくいっていない場合を含め、教育と福祉がお互いにできることを見つけること

- ・福祉側が教育（学校）を知る（教えてもらう）機会を作る。

（教育課程（時間割）、職員の勤務時間、就学相談の流れ、特別支援学級、通級、特別支援教育コーディネーターの役割、いきいきサポーター配置についてなど）

- ・うまくいかない時の連携（『橋渡し』）の工夫

- ① 特定相談員が地区障がい相談支援事業所に相談をしてケース会議（個別調整会議）を地区障がい相談支援事業所がケース会議を主催してもらう。
- ② 特定相談員から障がい福祉課に、障がい福祉課から学校教育課に話しをしてもらい学校教育課から学校への聴き取りをしてもらう。その後、その逆ルートで話しが戻るが、最終的には相談員と学校がやりとりできる体制としていく。必要に応じ改めて行政が入る場合もある。

【イメージ】

